

心の風景 —我が母校—

佐渡市立新穂小学校

新穂は教育力溢れる地域です。この地域の教育力を活かし、新穂小学校では、地域との絆を深める活動を推進しています。ここ数年、継続的に取り組んでいる3つの活動を紹介します。

1 大人のあいさつ隊

当校では、毎朝、校門、玄関、教室のそれぞれに職員が分担して立ち、子どもとあいさつを交わします。これに加え、月に一度、保護者や地域の方にも校門に立っていただきます。保護者や地域の方と元気にあいさつを交わすことは、子どもにとって始業前の心の暖機運転となっています。



2 震災復興支援 空ビン回収

P.T.Aの力を借り、子どもは、夏休みには各地域で空ビン回収を行います。これは、震災復興支援が大きな目的です。しかし、それだけでなく、地域一軒一軒を回るこの活動は、子どもと地域との顔をつなぐ絶好の機会となっています。保護者から次のような感想をいただきました。

高学年の子どもが先頭を切って、「新穂小学校です。空ビンありますか。」と玄関の戸を開けます。すると、「そこにあるし。持っててくれ。」だの、「二本もねえんだっちゃ。すまんのう。」と佐渡弁で応えてくれます。空ビン回収は、子どもと地域との絆を確かめる一日にもなっています。

四年間の空ビン回収の成果が認められ、当校P.T.Aは、本年度、日本P.T.A会長賞を受賞しました。

3 学習支援ボランティア

当校には、3つの常設ボランティアグループがあります。1つ目は、「放課後学習塾」です。毎週月曜日の放課後に来校し、希望者に補充学習をしてくれます。2つ目は、「読み聞かせ」です。毎週木曜日の朝活動の時間に各教室で読み聞かせをしてくれます。3つ目は「クラブ指導」です。隔週火曜日の6校時に、調理、手芸、工作、切り絵、昔の遊び、バウンドテニス等の専門的な技能を指導してくれます。これらボランティアの方から称賛されることは、子どもたちの自己肯定感を高めることにもつながっています。これからも、新穂小学校は、地域との絆を深める活動を推進していきます。



◆教育委員会学校教育課

(両津支所内) ☎23-4898

生活情報 さど

あなたのテレビ本当にデジタル？

ケーブルテレビのデジタル変換サービスは
平成27年3月31日をもって終了します！

「デジタル変換」とは、平成23年

7月のアナログ放送停波後も、アナログテレビで引き続き、地上デジタル放送が視聴できるよう、地上デジタルテレビ放送をアナログ方式に変換して再放送するサービスです。このサービスは、地上デジタル放送に円滑に移行するための経過的な措置であり、平成27年3月31日をもって終了します。そのため、デジタル変換でテレビを見ている方は、サービスが終了するまでにアナログテレビをデジタル対応しないとテレビが見られなくなってしまう。

デジタル変換とは？

「デジタル」を「アナログ」に
「変換する」⇓「デジタル変換」

地デジの準備はどうすればいいの？

地デジ受信の方法は次の3つの方法があります。早めにいずれかの方法の準備を行うようにしましょう。

○ご覧のケーブルテレビの契約を変更する。(セットトップボックスを設置する。)

○デジタルテレビに買い替える。
○地デジ対応の録画機器またはチューナーを購入する。

※家の中の2台目や3台目のテレビなどもう一度ご確認ください。離れて暮らすおじいちゃんやおばあちゃんのテレビは大丈夫ですか。ぜひ、声をかけてあげてください。

デジタル変換の終了に関連した悪質商法が予想されます。例えば、「デジタル変換が終了するので工事が必要」などと言って工事費を請求したり、必要以上の機器を売りつけたり、「○○ケーブルテレビから参りました。」などと身分を偽ったり：悪質商法は頼みもしないのにやって来ます。早めにご自身で準備を済ませておけば安心です。

デジタル変換に関することは総務省地デジコールセンター(☎0570-07-0101)へお問い合わせください。

お問い合わせ

佐渡市立消費生活センター
(佐和田行政サービスセンター内)
(平日) 午前9時～午後4時

☎57-8143